

## 成果の情報共有とコミュニケーション向上へ

### ～ J A 営農生活指導員成果発表会～

1月25日、本店で J A 営農生活指導員成果発表会を開き、営農・生活指導員が参加した。

同発表会は、営農・生活指導員の取り組み成果の発表で情報を共有し、コミュニケーション力向上のために開いた。大川重紀常務は「発表会を通じ、今後生産者とのパイプ役として現場の声を聞いて指導してほしい」と激励した。

営農・生活指導員12人が日頃の成果をパソコンを使って発表。審査の結果、最優秀賞に常盤基幹グリーンセンター生活指導の榊有里子副調査役、優秀賞に石川基幹グリーンセンター生活指導の長内圭恵さん、黒石基幹支店山形グリーンセンター営農指導の藤田俊也さんが選ばれた。

営農指導部門でトップとなった藤田俊也さんは2月6日、全農青森県本部主催「青森県農協営農指導員および担い手担当者研修大会」の J A 営農指導実践大会で発表をした。



パワーポイントで説明する榊副調査役

〈発表内容〉

- **榊有里子副調査役（常盤基幹グリーンセンター生活指導）**  
教育活動を通じた取り組みを紹介し、料理などの女性部組織活動、ちやくりんフェスタなどの教育事業などさまざまな J A ぐらしの活動をすることで、非 J A 利用者に J A の宣伝ができ、豊かな食文化の継承や食料自給率向上などさまざまな効果が期待できることを説明した。
- **長内圭恵さん（石川基幹グリーンセンター生活指導）**  
「家の光大会」記事活用発表会用パワーポイントの作成で、活動内容を分かりやすく伝えるためのポイントや工夫点について説明した。
- **藤田俊也さん（黒石基幹支店山形グリーンセンター営農指導）**  
黒石地区もも栽培研究会の県外視察研修を通じ、桃先進地の状況を把握して、「津軽の桃」が他県産に追いつくために栽培技術の向上などが必要と説明した。



意見交換する女性部員



組合長の回答を聞く青年部員

## J A 運営活動へ関わろう

### ～青年部・女性部と役職員との意見交換会～

常盤地区青年部と女性部常盤支部は2月2日、常盤基幹支店で役職員との意見交換会を開き、 J A へ意見・要望をした。青年部・女性部員、工藤組合長ら J A 役職員22人が出席した。

工藤組合長は「活発な意見交換をして、事業の反映につなげていきたい」とあいさつ。

部員からは、肥料倉庫の老朽化や後継者不足などの J A での対策、地元の職員を配置してほしいなどの要望が出され、活発な意見交換会の場となった。

各地区で青年部・女性部と役職員との意見交換会が行われ、地区の意見を参考に事業への反映を目指す。